

(款) 5 . 労働費 (項) 1 . 労働諸費 (目) 1 . 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 166,217 千円
 決算額 163,864 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,121	2,680		88,237	59,826

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 若年求職者等支援事業	475	カウンセリング事業を開催し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。	頁 211
2 . 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	29,084	(社)伊勢・鳥羽・度会中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。 この団体は、中小規模の事業所単独では実施が困難な福利厚生事業を提供することを目的として、平成11年4月に事業を開始した。主な事業は、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋・補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催・提携施設の割引利用あっせん・各種チケットあっせんを行う余暇活動事業、教養文化講座の開催及び参加補助を行う自己啓発事業である。	211
3 . 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催して、'06勤労者ゆとりフェスティバルを10月8日に県営サンアリーナを会場に開催した。 当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人が参加し、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	211
4 . 高齢者労働能力活用事業費補助金	19,940	高齢化社会が急速に進むなかで、多様化する高齢者の就業ニーズに対応するため、臨時的、短期的な就業及び生き甲斐対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	211
5 . 高齢者生活援助サービス事業費補助金	2,500	シルバー人材センターの会員が、高齢者・障害者及びその家族に対し、「伊勢市軽度生活援助事業」等の高齢者生活援助サービスを提供するにあたり、事業内容を検討する専門職員が必要となるため、これに係る人件費及び研修費・連絡調整などの経費補助を行った。	211
6 . サンライフ管理運営事業	13,046	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上に寄与するとともに、趣味づくり教室作品発表会を開催し、サンライフ伊勢の趣味づくり教室の活動を広く市民に周知・啓発した。 また、平成18年9月より指定管理者制度に移行した。	211
7 . 労働福祉会館管理運営事業	7,872	伊勢市労働福祉会館を管理運営し、労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与した。	211
8 . やすらぎ公園プール管理運営事業	9,366	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者の福祉の増進と体力の向上に寄与した。	211

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. やすらぎ公園プール整備事業	5,597	やすらぎ公園プールの流水プール並びに幼児用プールの再塗装を行うとともに、多目的トイレの改良工事を行い、快適な利用環境の整備に努めた。	211
10. 勤労者持家促進資金貸付金	63,200	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の一部を負担することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子負担の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	211
11. 勤労者教育資金貸付金	10,780	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利息の一部を負担することにより勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。利子負担の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	211